



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 黒崎播磨株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 5352 URL <https://www.krosaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 江川 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務人事部長 (氏名) 本田 雅也

TEL 093-622-7224

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	55,671	21.4	1,459	70.1	2,227	54.8	1,688	46.7
2020年3月期第2四半期	70,839	0.9	4,889	10.1	4,923	14.7	3,166	13.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,673百万円 (26.2%) 2020年3月期第2四半期 2,267百万円 (17.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	200.48	
2020年3月期第2四半期	375.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	121,778	57,721	45.1
2020年3月期	126,942	57,233	42.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 54,899百万円 2020年3月期 54,222百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		100.00		120.00	220.00
2021年3月期		40.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当期の期末配当予想は引き続き未定です。当期の第3四半期決算発表時に判断し、開示する予定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	17.8	4,000	57.4	5,000	48.8	3,400	47.2	403.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 有 |
| 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しています。詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	9,114,528 株	2020年3月期	9,114,528 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	691,251 株	2020年3月期	690,843 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	8,423,518 株	2020年3月期2Q	8,424,772 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
3. その他	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要得意先である鉄鋼業界における当第2四半期連結累計期間の国内粗鋼生産量は、前年同四半期連結累計期間に比べ26.8%減の3,710万トンとなりました。また、2020年1～9月間の世界の粗鋼生産量も、前年同期に比べ3.2%減の13億4,744万トンとなりました。

当社グループでは、国内外の鉄鋼業界における減産に伴う耐火物需要の減少や、顧客の減産に伴うファーネス事業での整備作業の受注減、同じくファーネス事業での大型案件の端境期に伴う受注減等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ21.4%減収の556億71百万円となりました。

損益については、売上高の減少等により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ70.1%減益の14億59百万円、経常利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ54.8%減益の22億27百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ46.7%減益の16億88百万円となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりです。

なお、各セグメントの売上高は、外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれていません。また、セグメント損益は営業損益ベースです。

[耐火物事業]

売上高は、国内外の鉄鋼業界における減産に伴う耐火物需要の減少等により、前年同四半期連結累計期間に比べ24.3%減収の446億42百万円となりました。利益は、売上高の減少等により、前年同四半期連結累計期間に比べ85.7%減益の5億24百万円となりました。

[ファーネス事業]

売上高は、顧客の減産に伴う整備作業の受注減や、大型案件の端境期に伴う受注減等により、前年同四半期連結累計期間に比べ15.2%減収の66億3百万円となりました。利益は、売上高の減少等により、前年同四半期連結累計期間に比べ51.7%減益の2億20百万円となりました。

[セラミックス事業]

売上高は、燃料電池向け断熱材の拡販等により、前年同四半期連結累計期間に比べ13.0%増収の37億28百万円となりました。利益は、生産能力増強に係る新規設備の立ち上げに伴う一過性のコスト増等により、前年同四半期連結累計期間に比べ5.4%減益の3億58百万円となりました。

[不動産事業]

売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ0.1%減収の4億15百万円、利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ3.6%減益の3億44百万円となりました。

[その他]

売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ25.8%減収の2億81百万円、損益は、13百万円のセグメント利益（前年同四半期連結累計期間は19百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月31日に公表した2021年3月期通期連結業績予想を本日修正しています。詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、粗鋼生産量の変動による耐火物需要の変動や、耐火物原料市況の動向等により、業績予想値が大きく変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,787	4,167
受取手形及び売掛金	47,539	39,227
商品及び製品	12,750	11,285
仕掛品	3,520	2,938
原材料及び貯蔵品	9,920	9,762
その他	3,579	7,444
貸倒引当金	△310	△271
流動資産合計	80,788	74,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,693	41,882
減価償却累計額	△28,956	△29,273
建物及び構築物（純額）	12,737	12,609
機械装置及び運搬具	64,208	64,913
減価償却累計額	△54,316	△54,343
機械装置及び運搬具（純額）	9,892	10,570
工具、器具及び備品	4,627	4,689
減価償却累計額	△3,754	△3,815
工具、器具及び備品（純額）	872	874
土地	6,810	6,787
建設仮勘定	2,842	3,316
有形固定資産合計	33,155	34,157
無形固定資産		
のれん	4,784	4,516
その他	523	495
無形固定資産合計	5,308	5,012
投資その他の資産		
投資有価証券	5,122	5,565
退職給付に係る資産	770	612
繰延税金資産	437	461
その他	1,531	1,583
貸倒引当金	△171	△168
投資その他の資産合計	7,690	8,054
固定資産合計	46,154	47,224
資産合計	126,942	121,778

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,579	11,233
電子記録債務	6,025	4,259
短期借入金	6,805	4,805
コマーシャル・ペーパー	9,000	8,000
未払法人税等	504	1,049
賞与引当金	2,752	2,808
工事損失引当金	81	82
環境対策引当金	68	79
その他	7,280	5,996
流動負債合計	46,099	38,314
固定負債		
長期借入金	18,914	20,920
繰延税金負債	56	143
役員退職慰労引当金	560	496
製品保証引当金	1	0
退職給付に係る負債	589	613
資産除去債務	25	25
その他	3,464	3,543
固定負債合計	23,610	25,742
負債合計	69,709	64,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,537	5,537
資本剰余金	2,000	2,000
利益剰余金	50,794	51,472
自己株式	△1,641	△1,642
株主資本合計	56,691	57,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,041	1,314
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△3,052	△3,360
退職給付に係る調整累計額	△458	△424
その他の包括利益累計額合計	△2,469	△2,468
非支配株主持分	3,010	2,822
純資産合計	57,233	57,721
負債純資産合計	126,942	121,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	70,839	55,671
売上原価	57,243	46,532
売上総利益	13,596	9,138
販売費及び一般管理費	8,706	7,678
営業利益	4,889	1,459
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	80	54
持分法による投資利益	224	206
為替差益	—	138
助成金収入	—	468
その他	146	216
営業外収益合計	466	1,098
営業外費用		
支払利息	199	130
為替差損	13	—
固定資産撤去費	63	71
その他	155	129
営業外費用合計	432	330
経常利益	4,923	2,227
特別利益		
固定資産売却益	62	88
投資有価証券売却益	—	194
為替換算調整勘定取崩益	69	—
その他	0	—
特別利益合計	132	282
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	25	39
関係会社株式売却損	10	—
環境対策費	310	30
その他	3	0
特別損失合計	350	69
税金等調整前四半期純利益	4,705	2,440
法人税、住民税及び事業税	1,116	807
法人税等調整額	153	△86
法人税等合計	1,270	721
四半期純利益	3,435	1,719
非支配株主に帰属する四半期純利益	268	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,166	1,688

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,435	1,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	273
繰延ヘッジ損益	△34	0
為替換算調整勘定	△1,093	△326
退職給付に係る調整額	△42	34
持分法適用会社に対する持分相当額	△80	△28
その他の包括利益合計	△1,167	△45
四半期包括利益	2,267	1,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,172	1,689
非支配株主に係る四半期包括利益	94	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として建物並びに構築物以外の有形固定資産について定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しています。

当社は、耐火物製造・施工技術を一貫して提供する「世界第一級の鉄鋼用総合耐火物メーカー」としてさらなる飛躍に向けた経営基盤の強化を積極的に進める中で、グローバルな事業展開に伴う海外生産比率の高まりを契機に、親会社である日本製鉄株式会社との会計方針の統一の観点も踏まえて、有形固定資産の減価償却方法の変更について改めて検討したところ、当社及び国内連結子会社が保有する有形固定資産は生産設備が長期に亘り比較的安定した稼働を維持できることに加え、近年においては技術的陳腐化のリスクも少ないため、耐用年数での定額法による費用配分を行うことが経営実態をより適切に反映する合理的な方法であると判断しました。

この変更により、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ304百万円増加しています。

(会計上の見積りの変更)

当社は、トンネル窯の耐用年数について、従来6年としていましたが、第1四半期連結会計期間より9年に変更しています。

当社は、減価償却方法の変更を契機に使用実態を見直した結果、トンネル窯の耐用年数を9年で減価償却を行うことが、より実態に即した耐用年数であると判断しました。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微です。

3. その他

四半期毎の経営成績の推移

(単位：百万円)

	前期				当期	
	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)
売上高	35,342	35,497	34,355	32,200	27,524	28,147
営業利益	2,342	2,547	2,137	2,359	924	535
経常利益	2,350	2,572	2,372	2,468	1,323	904
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,498	1,667	1,600	1,677	1,051	637